



平成 26 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 イフジ産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井 徳夫
(コード：2924：東証第 2 部)
問合せ先 取締役総務部長 原 敬
(TEL. 092-938-4561)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 5 月 13 日に公表しました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 26 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,179	862	864	510	61.23
今回修正予想 (B)	12,505	295	322	197	23.74
増減額 (B-A)	1,325	△566	△541	△312	
増減率 (%)	11.9	△65.7	△62.7	△61.2	
(参考)前期連結実績 (平成 25 年 3 月期)	10,657	786	825	532	63.93

2. 平成 26 年 3 月期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,825	741	430	51.62
今回修正予想 (B)	11,341	222	121	14.59
増減額 (B-A)	1,515	△519	△308	
増減率 (%)	15.4	△70.0	△71.7	
(参考)前期個別実績 (平成 25 年 3 月期)	9,494	738	475	57.06

3. 修正の理由

鶏卵関連事業において、販売数量が好調に推移していること、また鶏卵相場が当初の予想より高く推移しており、鶏卵相場に連動する液卵の販売単価も高くなっていることから、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。

また、夏の猛暑の影響等による鶏卵市場での供給量減により秋以降の鶏卵相場が高騰し、原料の購買環境が大変厳しい状況となり、定期原料買付数量が減少し割高な当用買いでの原料買付数量の比率が増加したことから、原料買付単価が大きく上昇したため材料費が増加し、損益は前回予想を下回る見込みとなりました。

この結果、通期の連結業績予想を修正することにいたしました。

また、通期の個別業績予想につきましても、上記の理由により修正することにいたしました。

なお、平成 26 年 3 月期の期末 1 株当たり配当金につきましては、当初予想の 8 円から修正しておりません。

以 上